

市民公開イベント 金沢大学子どもこのころの発達研究センター

ムーンショット目標9

金沢大学、東京藝大、大阪大学

最先端の研究成果発表会

対象：研究開発好きの中学生～社会人

3月20日（水・祝）13:00-14:30

石川県立図書館 2F 研修室

事前申し込み不要

13:00-13:10



金沢大学

和田 隆志 学長より挨拶

13:10-14:30

ムーンショット目標9 「子どもの好奇心・個性を守り、躍動的な社会を実現する」 進捗報告会



菊知 充 プログラムマネージャーより概要紹介

廣澤 徹 金沢大学 : 子どもの脳のネットワーク解析

森瀬 博史 金沢大学／株式会社リコー : 脳を測定する新技術開発

駒米 愛子 東京藝術大学 : 芸術が子どもに及ぼす効果

神吉 輝夫 大阪大学 : 鼓動から、こころを探るために

池田 尊司 金沢大学 : 同調性について

内閣府 ムーンショット目標9 要素研究「子どもの好奇心・個性を守り、躍動的な社会を実現する」

我々の金沢大学研究プログラムは、2022年度より内閣府が進める研究開発プロジェクト「ムーンショット型研究開発事業」に参加しております。この事業では、未来社会を展望し、困難だけど実現すれば大きなインパクトが期待される社会課題等を対象として、人々を魅了する野心的な目標のことをムーンショット目標と呼び、9つの目標を策定しております。我々のプログラムは、熊谷誠慈先生がディレクターを務めるムーンショット目標9「2050年までに、こころの安らぎや活力を増大することで、精神的に豊かで躍動的な社会を実現」の中に展開されており、幼少期～学童期のこころにフォーカスしていることに特徴があります。幼少期～学童期に自尊感情が損なわれ安定した対人関係が築けなくなると、こころの成長に影響を及ぼします。我々は目標達成のために、あらゆる子どもたちの個性と好奇心を守り、その結果として将来の精神的に豊かで躍動的な社会を実現することを目指します。

プログラムマネージャー（PM） 金沢大学 菊知充

金沢大学子どものこころの発達研究センターは、2007年10月の設立以来16年が経過しました。2017年には「基礎・橋渡し研究部門」、「臨床・社会実装研究部門」および「文理融合・地域支援部門」の3部門への組織改変が行われ現在に至っています。学術研究の成果を医療、教育、支援の現場へ還元するためには、様々な専門性をもった方々の参加が必要です。引き続き、子どものこころの問題を抱える方々および医療、教育、支援に携わる大勢の皆様からご協力、ご助言を賜ることができますよう、お願い申し上げます。

金沢大学 子どものこころの発達研究センター センター長 横山茂

